



# サポートデスク通信

2013年1月30日

第4号

発行：秋田大学附属図書館 学習サポートデスク

レポートってどうやって書けばいいの？  
資料を探したいんだけど図書館にあるの？

**学習サポートデスク**ではそんな疑問や相談を  
院生・学部4年生が受け付けています！

簡単な質問から卒論・修論に関する相談まで、  
幅広くお手伝いします。  
お気軽にご相談ください！

@aulsd→Twitterでも活動中！

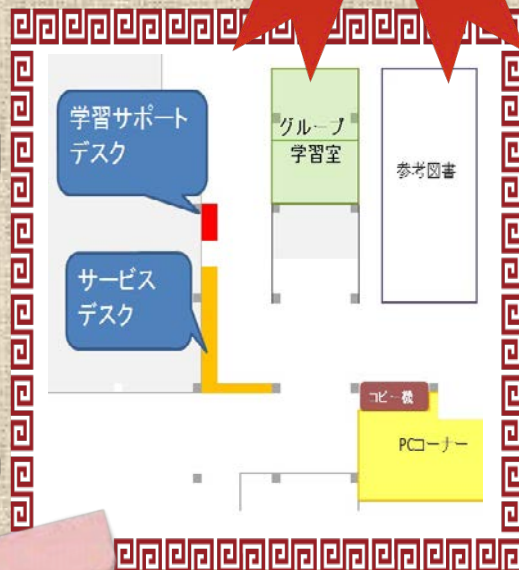


受付時間は  
平日 16:15~18:15

## ハタチの皆さんに 読んでもらいたい本

学習サポーターお勧めの一冊を紹介！

1. タイトル/著者は？
2. 内容は？
3. どうして読んでもらいたいのか？



『十九、二十(はたち)』

著 原田 宗典

主人公は、あと数週間で  
20歳を迎える大学生。し  
かし、父は借金まみれ、恋  
人には突然別れを告げられ  
る。そんな彼の鬱屈した生  
生活を、著者の実体験を基に  
描いた青春小説です。



この本を読んで、『アデン・アラビア』の  
冒頭の一句“ぼくは二十歳だった。それがひ  
との一生でいちばん美しい年齢だななどとだ  
れにも言わせまい。”をふっと思い出しまし  
た。私は、この本を十代の頃に読み、その頃  
思い描いていたハタチではないと思います。  
そんな理想と現実を考えさせられる一冊です。

貴依 工学資源研究科・電電1年次

## 『はじめての政治哲学』

「正しさ」をめぐる23の問い』

著 小川仁志

現代の社会はかなり迷走しているように思えます。年金問題や労働問題、テロリズムの問題や貧困問題など、様々な問題が山積しているにもかかわらず一定の答えを見出せていません。これらいろいろな問題に政治哲学はどのような考え方をしているのか、どう考えているのかを紹介している本です。



20歳を迎えて責任ある大人になったからには、多種多様な問題について、それぞれ自分なりの考えをもつことが必要になります。ただのんびんだらりと徒に日々を過ごすのではなく、これからの社会についてどのように考えたらいいのか、この本はそのようなヒントをくれるかもしれません。

加藤 教育学研究科・社会科2年次

## ハタチの皆さんに 読んでもらいたい本

## 『チョコレート・アンダーグラウンド』

著 アレックス・シアラー

選挙で当選したある党によってチョコレートをはじめとする甘いお菓子を一切禁じられてしまいます。チョコレートが大好きな少年たちがお菓子を取り返すために法律に戦いを挑むお話です。

20歳になれば様々な変化が起こりますが、このお話では「選挙」がキーワードになっています。児童書ではあるものの、大人のファンも多い著作の作品。チョコレートが好きでも好きでなくても、これから選挙権を持つみなさんにはぜひ読んでほしい一冊です！

杉本 教育文化学部・人環4年次



## 『砂漠』

著 伊坂幸太郎

入学した大学で出会った5人の男女。ボウリング、合コン、麻雀、通り魔犯との遭遇、捨てられた犬の救出、超能力対決。共に経験した出来事や事件が、互いの絆を深め、それぞれ成長させてゆく。自らの未熟さに悩み、過剰さを持つ余り、それでも何かを求めて手探りで先へ進もうとする青春時代。二度とない季節の光と闇をパンクロックのビートにのせて描く、爽快感溢れる長編小説。



人生全般には、正解やヒントのチェックポイントとか、何か条ってないでしょ。自由演技でしょ。その気になれば、砂漠に雪を降らすことだって、余裕でできるんですよ。大学生活かけがえのないものを手に入れて、砂漠へ飛び出してほしいからお勧めします。ハタチはもちろんのこと、4年生もまだ間に合う。読まない後悔します。

戸田 教育学研究科・学校教育1年次

## 『子どもごころ 幼児が生きている豊かな時間』

著 河邊貴子

元保育士で、教育学科助教授である筆者が、周囲の子どもの観察と自らの子ども時代の振り返りから「子どもの想いに寄り添う大切さ」を語った、いわゆる育児書です。



成人式で再会した同級生が既に「親」になっていて驚いた方も多いと思います。それは極端な例かもしれませんが、みなさんもしずれ親になる時が来るかもしれません…。子どもは「自分の思い通りにならないから大泣きする」のではなく、「自分の気持ちをうまく言い表せられないもどかしさに苦しんでいる」可能性があるようです。子どもの言動から想いを汲み取ろうとすることで自らを省みる著者の姿勢から、育児の奥深さや大変さを知ると同時に、成人まで育ててくれた周囲の人々へのありがたみが実感できる1冊です。

遠藤 教育文化学部・国際4年次